

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 7		作成日		30年 6月 29日		
事務事業名		体育振興経費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち				課名	社会教育課		係名	スポーツ振興係
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる				シート作成者				
	施策	3-1-4 スポーツの振興				予算費目	会計		一般	
							款		10	
主要施策	② 多様なスポーツ活動の普及促進				項		6			
	③ スポーツ団体、指導者の育成				目		2			
個別計画名										
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	住民			町民にスポーツの場を提供し、またスポーツを通じた地域のコミュニケーションの輪を広げ、住民にとっての明るく健康的なまちづくりを行う。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		誰もが気軽に参加できる、地域住民による自主的・主体的なスポーツ行事の企画・運営（スポーツ教室及び対抗戦等スポーツイベントの開催、広報活動による啓発・周知、指導者の確保・育成）の基盤づくりを支援する。また、町民体育祭や駅伝大会の開催について、前年度までの反省事項を基に、検証・協議し、各種目の見直しやニーズの高い趣向を新しいプログラムに取り入れるなど、参加しやすい、または参加しなくなる大会となるよう努める。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～ 平成 年度		(年間)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		スポーツ振興基本計画								
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0		25,466		26,869				
財源内訳	国庫支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	地方債		0		0		0			
	その他特定財源		0		1,280		1,400			
	一般財源		0		24,186		23,268			
直接事業費（千円）A		0		25,466		24,668				
人件費（千円）B		0		0		2,201				
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人		0		0.33 人		2,178	
	臨時職員（人・千円）		0.00 人		0		0.01 人		23	
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度		
					目標	実績	(目標)	(目標)		
	①	総合型地域スポーツクラブ（フレンドリークラブ）会員数		人	800	688	800	800		
	②	教室参加人数		人	20,000	19,350	20,000	20,000		
③	町民体育祭・駅伝大会参加自治会数		自治会	23	19	23	23			
説明		総合型地域スポーツクラブの事業については、内容の充実に努め、現在の事業規模（会員数、参加者数）が縮小しないよう目標を設定します。（教室の会場が過密でこれ以上の拡大は困難）参加自治会数だけで成果があったかを検証するのは性質上難しいが、参加数が多いほど成果が高いと考え、指標として設定します。								

事業名		体育振興経費		シート作成課		社会教育課		
一次評価者		社会教育課長		二次評価者		教育委員会事務局長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	町のスポーツ分野を一括して扱うことで、町民のニーズをより反映できることから必要性は高いと考えます。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	スポーツに親しみたい人たちの選択肢が増えることには有効性が高いと考えますが、自治会対抗等の参加選手が困難な事業等について、一考する必要があります。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	競技分野、レクリエーション分野など様々だが、健康増進等の企画業への参加者数をもって一定の評価とします。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	効率よく多くの方が参加して貰い好評であるが他にコスト削減が可能か検討します。	
本事務事業の実施適切性の説明								
総合型地域スポーツクラブ（フレンドリークラブ）、体育協会、スポーツ少年団の既存3団体の「強み」を活かした活動の充実を図るため、基盤強化の支援を行います。また、地区によって参加内容に大きく差が生じている現状から、自治会対抗種目の選手集めに苦慮する地区があります。今後は、現在の町民体育祭の形態に固執せず、柔軟に種目を決定したり、自治会対抗種目の在り方を検討します。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	3	3	4	(8) B	(7) A	
						(6) D	(5)(6) C (8)	
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
今後の改革・改善目標	現在の町民体育祭の形態に固執せず、柔軟に種目を決定したり、自治会対抗種目の在り方を検討します。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	(8) B	(7) A	
						(6) D	(5)(6) C (8)	
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大	
コメント	多様な住民ニーズに対応し、より多くの住民の方が参加して貰えるよう実施内容等をさらに検討し、全23自治会が参加できるように努める必要があるが、参加できない自治会がある以上、自治会対抗の在り方についても検討を進める必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				